

NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース

追加型投信／海外／債券

信託期間 : 2014年11月28日 から 2024年11月15日 まで 基準日 : 2020年6月30日
 決算日 : 毎年5月16日および11月16日(休業日の場合翌営業日) 回次コード : 3247

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

<<基準価額・純資産の推移>>

2020年6月30日現在

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 9,260 円 |
| 純資産総額 | 3百万円 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド |
|------|--------|
| 1カ月間 | +0.8 % |
| 3カ月間 | +9.0 % |
| 6カ月間 | -6.3 % |
| 1年間 | -3.2 % |
| 3年間 | -5.6 % |
| 5年間 | -9.4 % |
| 年初来 | -6.3 % |
| 設定来 | -7.4 % |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

<<分配の推移>>

(1万口当たり、税引前)

| 決算期(年/月) | 分配金 |
|--------------|---------|
| 第1期 (15/05) | 0円 |
| 第2期 (15/11) | 0円 |
| 第3期 (16/05) | 0円 |
| 第4期 (16/11) | 0円 |
| 第5期 (17/05) | 0円 |
| 第6期 (17/11) | 0円 |
| 第7期 (18/05) | 0円 |
| 第8期 (18/11) | 0円 |
| 第9期 (19/05) | 0円 |
| 第10期 (19/11) | 0円 |
| 第11期 (20/05) | 0円 |
| 分配金合計額 | 設定来: 0円 |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

<<主要な資産の状況>>

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入ファンド | 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
|--------|-----------------------------------|---|---------|
| | | | 合計85.1% |
| | ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバ イザーズLLC | ダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド(ノンハッ ジ/N1クラス)* | 85.0% |
| | 大和アセットマネジメント | ダイワ・マネー・マザーファンド | 0.0% |

<<組入ファンドの資産別構成>>

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

| ダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド | |
|--------------------------|--------|
| 資産 | 比率 |
| 外国債券等 | 98.4% |
| 現金等 | 1.6% |
| 合計 | 100.0% |

※MBS(住宅ローン担保証券)取引にかかるキャッシュポジションについても考慮し算出しています。

*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

※ニューバガー・バーマンの提供する現地月末時点のデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

ポートフォリオ特性値

| | |
|-----------|------|
| 直接利回り(%) | 5.0 |
| 最終利回り(%) | 3.7 |
| 修正デュレーション | 5.0 |
| 残存年数 | 11.2 |
| 銘柄数 | 187 |

通貨別構成 合計100.0%

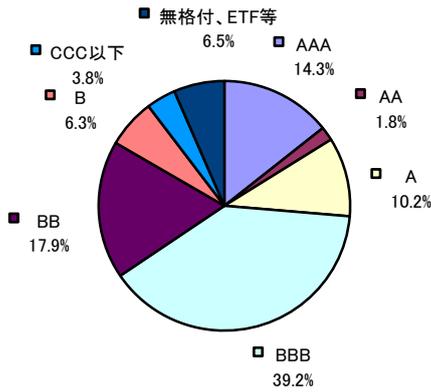
| 通貨 | 比率 |
|-----|-------|
| 米ドル | 99.5% |
| その他 | 0.5% |

《債券種別月次変動要因分解》*

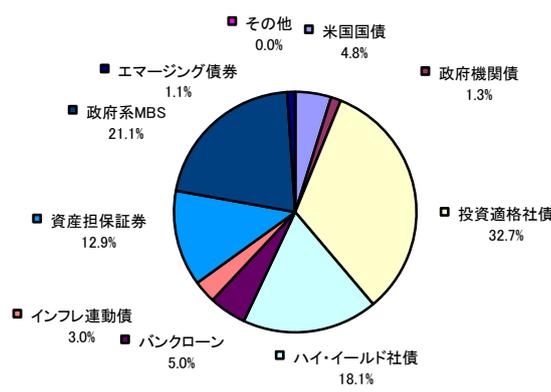
| 債券種別 | 変動率 |
|-----------|--------|
| 米国公債 | -0.02% |
| 政府機関債 | 0.02% |
| 投資適格社債 | 1.32% |
| ハイ・イールド社債 | -0.18% |
| バンクローン | -0.01% |
| インフレ連動債 | 0.05% |
| 資産担保証券 | 0.16% |
| 政府系MBS | 0.09% |
| エマージング債券 | 0.00% |
| その他 | 0.03% |
| 合計 | 1.45% |

* 2020年5月末～2020年6月末の変動を表示しています。
 * ミドルベースでの数値を表示しています。
 * その他の項目にはトレード要因等が含まれます。
 * 債券先物の売建ポジションの影響により米国公債価格の変動とパフォーマンスが一致しない場合があります。

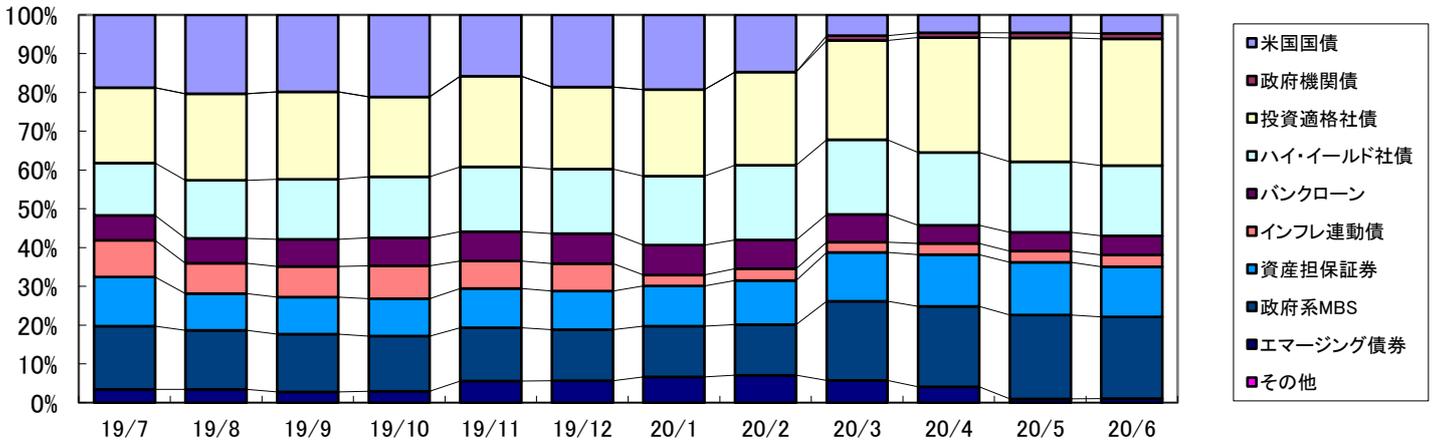
格付別構成



種別構成



債券種別構成の推移



組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 種別 | 利率(%) | 償還日 | 比率 |
|-------------------------|---------|--------|------------|------|
| UMBS 30YR TBA(REG A) | 政府系MBS | 2.5 | 2050/08/14 | 7.1% |
| UMBS 30YR TBA(REG A) | 政府系MBS | 3 | 2050/08/14 | 6.1% |
| INVESCO SENIOR LOAN ETF | バンクローン | --- | --- | 5.0% |
| GNMA2 30YR TBA(REG C) | 政府系MBS | 3 | 2050/08/21 | 2.5% |
| STACR 17-DNA2 M2 | 資産担保証券 | 3.6345 | 2029/10/25 | 2.4% |
| STACR 17-DNA3 M2 | 資産担保証券 | 2.6845 | 2030/03/25 | 2.4% |
| GNMA2 30YR TBA(REG C) | 政府系MBS | 3.5 | 2050/08/21 | 2.2% |
| UMBS 15YR TBA(REG B) | 政府系MBS | 2.5 | 2035/08/16 | 2.0% |
| BANCO SANTANDER SA | 投資適格社債 | 2.746 | 2025/05/28 | 2.0% |
| TREASURY (CPI) NOTE | インフレ連動債 | 1 | 2048/02/15 | 1.6% |

※上記データは、四捨五入の関係で数値の合計が100%にならない場合や、合計の数値と一致しない場合があります。
 ※上記比率は、MBS取引にかかるキャッシュポジションについても考慮し算出しています。

| 種別 | 市場動向 | 運用経過 |
|-----------|---|---|
| 米国国債 | 月上旬は、米国経済指標の改善や経済活動の再開に伴う景気回復期待等から利回りは上昇しましたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大懸念等からリスク回避姿勢が強まったことで利回りは低下し、月を通してみると利回りはおおむね横ばいとなりました。当ファンドでも、おおむね横ばいのリターンとなりました。 | 当月は先物のショートポジションを維持しました。今後は金利リスク量を機動的に調整する方針です。 |
| 政府機関債 | 当月は、インカム収入やスプレッド(米国国債に対する利回りの上乘せ幅)が縮小したこと等により、小幅にプラスのリターンとなりました。 | 地方債の組み入れを維持しました。 |
| 投資適格社債 | 当月は、FRB(米国連邦準備制度理事会)の資産買い入れによる需給面での支援材料に加え、堅調な経済指標等を背景に投資家心理が改善し、スプレッドが縮小したこと等から、プラスのリターンとなりました。 | クレジット・ファンダメンタルズを踏まえて割安であると判断した銘柄を選択的に組み入れ、市場対比で高めの配分を維持しました。 |
| ハイ・イールド社債 | 当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、マイナスのリターンとなりました。 | 当ファンドの組入銘柄は比較的下振れリスクに強いと考えており、市場対比で高めの配分を維持しました。 |
| バンクローン | 当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、小幅にマイナスのリターンとなりました。 | バンクローンの需給要因を背景にバリュエーション上の投資妙味があるとの判断のもと、保有を維持しました。 |
| インフレ連動債 | 当月は、小幅にプラスのリターンとなりました。 | 低位な期待インフレ率を背景にバリュエーション上の投資妙味があるとみており、保有を維持しました。 |
| 資産担保証券 | 当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理の改善を受けてスプレッドが縮小したこと等から、プラスのリターンとなりました。 | 良好なファンダメンタルズを維持していることに加え、相対的に高い利回り水準およびその他のクレジット資産との低い相関性により、市場対比で高めの配分を維持しました。 |
| 政府系MBS | 当月は、インカム収入の下支え等により、プラスのリターンとなりました。 | ポートフォリオの分散やクレジットの質の観点から、ポートフォリオでの配分を相対的に高めに維持しました。 |
| エマージング債券 | 当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、おおむね横ばいのリターンにとどまりました。 | 短期的にはボラティリティ上昇が想定されること等から配分を低位としましたが、スプレッド水準に割安感があるとの判断のもと、保有を維持しました。 |

《参考》市況データ

(2019年6月28日～2020年6月30日)

債券指数の推移



為替の推移



※ブルームバーク・パークレイズ米国総合インデックスは、ブルームバークが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバークは、ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーク」と総称します)またはブルームバークのライセンサーは、ブルームバーク・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

＜為替市況＞

米ドル円相場は、米国の経済指標が市場予想を上回ったことなどから、米ドル円は一時上昇しました。しかし、FOMC（米国連邦公開市場委員会）後の米国での金利低下を受けた米ドル安の流れや、新型コロナウイルスの第二波警戒を受けたリスク回避の動きが円高につながり、米ドル円は下落に転じました。月末にかけては、経済対策期待から米ドルが買い戻され、米ドル円は前月末とほぼ同水準となりました。

＜今後の見通し＞

米国を中心に、年単位で低金利環境が継続すると見込まれる中、利回りを求める市場参加者からの需要によってクレジット資産は今後も下支えされるとみています。特に、FRB（米国連邦準備制度理事会）や欧州中央銀行（ECB）による資産購入プログラムの直接的な購入対象となる投資適格社債や一部の米国ハイイールド債券については、より強い需給面での支援が期待できると考えられます。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費需要の減退の影響を受けやすいセクターに属する企業については、引き続き下方リスクを注視する必要がありますと考えます。一方で、多くの企業の経営陣は、足元の不透明な環境を踏まえ、自社株買いや配当を含む株主還元削減のほか、設備投資の削減、コスト削減、手元流動性の拡充、負債を増加させる形での買収の抑制等、過去と比べて保守的な事業戦略・財務戦略を採用しています。段階的に経済活動が再開され、2020年後半にかけて経済が回復に転じた場合には、企業のクレジット・ファンダメンタルズについても改善する可能性が高いとみています。ただし、新型コロナウイルス感染の第二波や米中対立の激化、米国大統領選挙の動向、EU（欧州連合）離脱の移行期間終了後の英国のあり方など、様々な潜在的リスクが存在しており、クレジット市場を中心に金融市場においてボラティリティが高まる局面には留意が必要です。

なお、当ファンドは全口数について解約請求があったため、信託終了日を繰り上げ、2020年7月20日をもって信託を終了します。

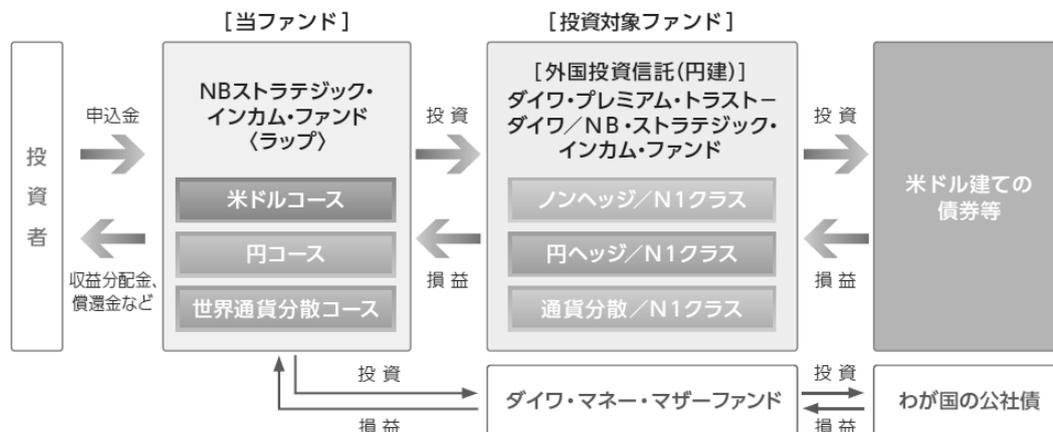
《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- 米ドル建ての複数種別の債券等に投資するとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 市場環境にかかわらず、安定的な利子収入の確保と値上がり益の獲得を通じて、トータルリターンを最大化をめざします。
 2. 米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、安定的な利子収入の確保をめざします。
 - ◆ 当ファンドが投資する債券等の種別は以下のとおりです。
国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン 等
 3. 景気サイクルや投資機会の変化を捉え、各種別の配分比率を機動的に調整し、値上がり益の獲得をめざします。
 - ◆ 債券等の運用は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ LLC が行ないます。
 4. 為替取引の内容の異なる3つのコースがあります。
 - 当コースは為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
 - ※一部米ドル建て以外の通貨建ての資産に投資する場合があるため、米ドル以外の為替変動の影響を受けることがあります。
- ・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース：米ドルコース
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉円コース：円コース
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉世界通貨分散コース：世界通貨分散コース
 - ・各ファンドの総称を「NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉」とします。
5. 当ファンドは、販売会社の提供するラップ口座等に係る投資一任契約に基づいて、ラップ口座等の資金を運用するためのファンドです。
 - 当ファンドの購入の申込みを行なう投資者は、販売会社とラップ口座等に関する契約および同口座に係る投資一任契約を締結する必要があります。
 6. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建ての債券等に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（公社債の価格変動、ハイ・イールド債券の価格変動、資産担保証券の価格変動、バンクローンの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

※一部米ドル建て以外の通貨建ての資産に投資する場合があるため、米ドル以外の為替変動の影響を受けることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ファンドの費用》

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|--|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。 | — |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 （信託報酬） | 年率 0.473% （税抜 0.43%） | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| 投資対象とする 投資信託証券 | 年率 0.52%~0.62%程度 （純資産総額の水準により変動します。） この他に「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド」に対して、固定報酬として年額 12,500 米ドルがかかります。 | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 |
| 実質的に負担する 運用管理費用 | 年率 1.093%（税込）程度（純資産総額によっては上回る場合があります。） | |
| その他の費用・ 手数料 | （注） | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース 取扱い販売会社

| 販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名) | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---------------------------------|----------|----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| いちよし証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第24号 | ○ | | ○ | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。